

東富水・富水・桜井地域の 「新しい学校づくり」を考えるワークショップ

「学校・地域の現状を共有しよう」

第1回

日程：2024年9月4日
時間：19：00～21：00
場所：小田原アリーナ

● ワークショップの主旨

現在策定中の「新しい学校づくり推進基本計画」において、学校配置に係る地域との合意形成プロセスの手法等を提示するにあたり、より実効性の高いプロセスとするため、モデル地域を選定し、学校・地域関係者等による検討組織を設け、学校配置案等の検討（意見交換・ワークショップ）を行う。

● 第1回ワークショップ

自治会・地域関係者、教職員、PTA、公募市民など、約25名の方にご参加いただきました。「学校・地域の現状を共有しよう」をテーマに、事務局から、地域・学校の現状等を説明した後、グループワークでは学校配置の将来像について気になることなどを話し合い、最後に発表を行いました。

プログラム	
1. 開会	・主催者 & ファシリテーターあいさつ ・アイスブレイク
2. 市からの説明	・新しい学校づくり推進事業について ・地域・学校の現状と課題 ・地域の学校配置の将来像
3. グループワーク	・3つのケースごとに、気になること、気づいたことを出し合う
4. 発表・意見交換	・グループごとに発表 ・ファシリテーターからのコメント



● グループごとの主な意見

- ・学校配置によって通学距離が遠くなる場合は、スクールバス等の対応策が必要
- ・長いスパンで見ると人口もさらに減るだろうし、10年、20年より先を見据えた検討が必要ではないか。
- ・学校は防災拠点としての役割にも期待されている。学校配置が換わることで避難所がなくならないようにしてほしい。
- ・自治会と整合する必要があるのか、未来の子供たちの事を先に考えるべき。
- ・小中一貫校は、9学年の世代間交流ができて良いと思うが、人間関係が固定化することについて不安がある。



● ファシリテーターのまとめ

- ・前提条件になっている点をどのように共有し、議論するかという難しさがある。
- ・自治会と学校の関係、防災は重要な論点として考える必要がある。
- ・人口動態を踏まえた学校配置の検証や、通学手段等を考える際は、都市計画等も踏まえる必要がある。

● 今後の予定

【2回目】

- 学校と地域との連携方策
(地域開放、管理運営のあり方等)

【3回目】

- 学区変更、通学距離・時間の変更への対応策
(安全対策など)

【4回目】

- 2・3回を踏まえ、学校配置の将来像や今後の検討の方向性等について整理、とりまとめ

+++++

(問合せ先) 小田原市教育委員会 教育部教育総務課 電話：0465-33-1671 FAX：0465-32-7855